



3/4 本町の福祉に大きく貢献
社会福祉関係等功労者表彰

本町で長年福祉に携わる業務に従事している方に、社会福祉関係功労者等十勝振興局長表彰が行われました。上士幌町福寿協会に勤めている松田さん、森田さん、馬場さん、大江さんの4名が社会福祉施設関係業務従業者として、サポートセンター白樺に勤めている森さんが社会福祉関係団体職員として表彰を受けました。

この表彰は社会福祉施設や社会福祉団体に通算15年以上勤務した方に贈られます。

町長からは「福祉は地域の中で大切な仕事、継続していただいていることに感謝。これからも体に気をつけて長く続けてほしい」と感謝の言葉を述べました。

今回受賞した松田さんは「今回このような賞をいただくことができ非常に光栄。大好きな仕事なのでこれからも続けたい」とお話しいただきました。

(写真上段：3月4日松田さん、馬場さん表彰。)

(写真下段：3月8日森さん表彰)



3月13日(土)、生涯学習センターにおいて『令和2年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式』が行われ、本町の文化の向上やスポーツの振興に功績のあった団体、個人が各賞を受賞されました。

文化賞・スポーツ賞等 各賞受賞者 (敬称略)

※少年文化奨励賞《個人》

吉澤 莉央

兼子 胡桃/阿部 このか/荒木 花萌

市田 愛奈/伊藤 史蘭/新津 愛理

矢戸 晴菜

※スポーツ賞《優秀選手》

杉森 誠志

※少年スポーツ努力賞《個人》

高森 大樹/鈴江 菜都/石井 菜々華

大井 悠菜/石井 愛菜/小野寺 伊織

橘 理央/伊藤 史蘭

※少年スポーツ奨励賞《個人》

石川 優和/北澤 星来/福澤 芯之助

新津 愛理/石川 詩月

※少年スポーツ努力賞《団体》

※上士幌中学校女子バスケットボール部

宇佐美 仁萌/巴 彩香

※少年スポーツ奨励賞《団体》

※上士幌中学校女子卓球部

黒沼 紗千/清水 優唯/石川 桜来

地域を変えていく新しい力
地域おこし協力隊活動報告



TITLE:本×人 ~子どもから大人へ発信する読書活動~

記:社会教育推進員 森 典子

上士幌町へ移住し二度目の冬。気温計を見るたびに「私はこんなに寒い場所にいるんだ!」と未だに驚きます。

私は読書コーディネーターとして、小学校、中学校、そして高校の図書室を訪問しています。発達段階の異なる子どもたちと関わることができ、日々貴重な経験をさせて頂いています。今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような活動が難しい一年でした。その為、昨年10月、小・中学校にご協力いただき「上士幌町図書館POPコンテスト」というイベントを開催し、小・中学生が作成したおすすめの本を紹介するPOP(広告物)を募集しました。たくさんの方々が集まり、町の図書館や学校の図書室が彩り豊かな光景となりました。

今年度より、上士幌高校の図書室に週2日(午後のみ)在室し、高校生とも関わる時間が増えたことを嬉しく思っています。上士幌高校では図書委員の生徒達が積極的に活動し、「図書室だより」と「読書推進ポスター」を作成、ポスターは町立図書館にも掲示し、高校生と共に読書の魅力を発信しています。

今できる形で、今後も子ども達や地域の皆様と一緒に、読書を楽しむ時間や環境をつくっていければと思っています。



▲上士幌中学校に展示した中学生のPOPと本

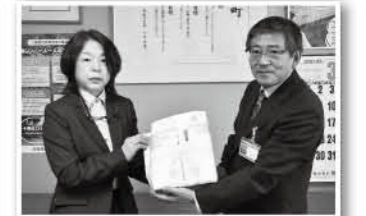


▲高校生が作成した図書だよりとポスター

2・3月の
まちのわだい



3月3日、令和3年度に小学校に入学する新一年生に向けて建設業協会からクリアファイル(写真左)、商工会女性部よりお守り(写真右)が寄贈されました。



◁3月8日、早坂由紀子様より手作りお手玉43個を寄付いただきました。

今後わっかに設置し、学童保育所の子どもたちが使用する予定です。



◁2月25日町内小中学校、高校でふるさと給食が提供されました。

短歌

これからが本番からだに充々と気をつけ下さい便りが届く
雪を除けるて転びたる高齢の兄の死伝ふ嘘のごとしも
雪除けんと勤め終へきし孫のきてひざつくゆきを除けはじめたり
テクノロジーIT然りデジタル化生活弱者になりそうなる予感
三月の庭に明るき陽の射して春の兆しの雪融けはじめ
わが好きな黄色の糸に刺するパイナップルの図案にそって
吹雪の日に籠って時をかけた料理をしたり上出来なりき
あたたかき日射しに雪もとけて出る畑の土は黒々と見え
寒い宵買物帰りの雪道を月明りしてゆっくり歩く
春日さす暖かき部屋に刺する兜をかぶる男の子の絵を
路のとう道辺にちんまり顔を出し春の訪れ感じつつ見る
君らとの短歌を作る午後の刻けだるき春の陽は傾きて

石米高中 鈴松 小米尾 本
川森木村 木田松森野 間
裕真誠仁 理義博よし 乗
子弓也志豊 恵美樹乃 風



◎今月の「上士幌高校です!」では見学旅行について書かれています。そのなかで吉野ヶ里遺跡というワードが出てきます。中高の歴史の授業でやった記憶はあるのですが、具体的な内容は思い出せず、意外と忘れてしまっているのだなと感じました。ちなみに好きな歴史の単語は「壘田永年私財法」です。…Y

◎広報担当に異動してから3年がたちました。町のイベントや広報の紙面づくりに追われながら国勢調査や情報通信基盤整備も兼務するなど、あっという間の3年間でした。直近の1年間は新型コロナウイルスの影響でイベントの中止も相次ぎ、少し寂しい思いもしました。何はともあれ、皆さまのおかげで無事3年間36号を発行することができました。今で本当にありがとうございました。…T

広報 **かみしほろ** 5月号は 4月23日(金) 発行予定

令和3年 2 月末現在の 人口

男性	2,430人(-9人)
女性	2,521人(-4人)
人口	4,951人(-13人)
世帯数	2,591世帯(-7世帯)

令和 2 年度 ふるさと納税寄付金

2 月分	1,517 件 26,954,000 円
累計	99,911 件 1,674,244,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

寄付 (3/12まで)
◎2月24日、島幸雄様が福祉の振興のため、10万円を寄付されました。

- 上士幌町民憲章
- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
 - おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
 - きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
 - 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
 - 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

TITLE:見学旅行に行くことができました!

コロナの影響で延期につぐ延期の後、2月15日(月)から3泊4日で2年生が見学旅行に行きました。初日は予定通り千歳空港から福岡、そして長崎へ。2日目は原爆資料館や大浦天主堂、グラバー園等を見学。特に資料館では、被爆者の生々しい貴重な講話を聞くことが出来ました。また行程外で眼鏡橋も散策し珍しいハート形の石も発見。3日目は雪が降る中、吉野ヶ里遺跡とハウステンボスを散策。寒い中でしたが、生徒はそれなりに満喫しておりました。最終日は雪の影響で高速が使えず、急遽一般道で空港へ向かいましたが直行便には間に合わず、羽田経由で4時間遅れとなりましたが何とか無事に帰ることができました。旅行中、誰一人として熱が出た生徒がいなかったのが唯一の救いでした。



△慰霊の式典もやりました



△ハウステンボスで焼き肉を堪能



△吉野ヶ里遺跡です



40人の卒業生が巣立っていきました

文責 新聞局顧問 山形 剛

3月1日(月)の卒業式は、コロナの影響が残る中、卒業生40名と保護者2名までという制約を設けざるを得ず、生徒会執行部と吹奏楽部以外の在校生は見送ることが叶いませんでした。それでも26日(金)には部活動を中心に花束や色紙を渡す場面がありました。

そして当日は全員が登壇して校長先生から証書を受け取り、生徒会長齊藤香暖さんの送辞を受けた元生徒会長、木村彩夏さんの答辞は、この3年間とりわけこの1年間の無念と気持ちの切り替えについて真摯な言葉で語り掛けるものでした。

新しい場所で新しい生き方を始める40名は「不安の中でも学校生活で培った力を最大限に生かし、社会の一員として(木村さんの答辞より)」貢献してくれるものと思います。



△テニス部の卒業生に後輩から



△木村彩夏さんの答辞



△担任から最後の言葉が